

報道関係者各位

2024年3月15日  
公益財団法人日本デザイン振興会

## 将来のデザイン分野を担う学生・若手の活動を支援 「2024年度グッドデザイン・ニューホープ賞」 応募受付開始 応募受付期間は3月15日（金）から8月15日（木）まで

公益財団法人日本デザイン振興会（以下JDP）は、「2024年度グッドデザイン・ニューホープ賞」（GOOD DESIGN NEW HOPE AWARD 2024）の応募受付を3月15日（金）から開始します。

グッドデザイン・ニューホープ賞は、デザイナー、クリエイターを目指す各種専修専門学校・大学・大学院の学生や、卒業・修了後間もない若手クリエイターを対象としたデザイン賞です。作品・プロジェクト・研究を審査・顕彰することにより、新たなクリエイティブ人材の発掘とキャリアアップを支援し、デザインを通じた新たな産業、および文化の発展に寄与することを目的として、2022年度からスタートしました。

長年にわたりJDPがグッドデザイン賞を通して社会へのデザインの浸透と啓発を担ってきた経験を踏まえ、新しい世代に特化したデザインの評価と振興のためのプログラムを設けることが、デザインの可能性をさらに広げるとともに、社会をよりよくしていく新たな力を生み出すことにつながると考え、グッドデザイン・ニューホープ賞を実施しています。

2023年度は日本全国から415件の応募が寄せられ、審査委員会による審査を経て最優秀賞1件、優秀賞7件を含む78件が受賞しました。

### <グッドデザイン・ニューホープ賞の特徴>

#### 提案や研究での応募が可能

学生や卒業・修了直後の者を対象とするため、商品化や実現化を応募条件とせず、提案や構想、研究として制作されたデザインでの応募が可能です。

#### 幅広い領域のデザインが応募対象

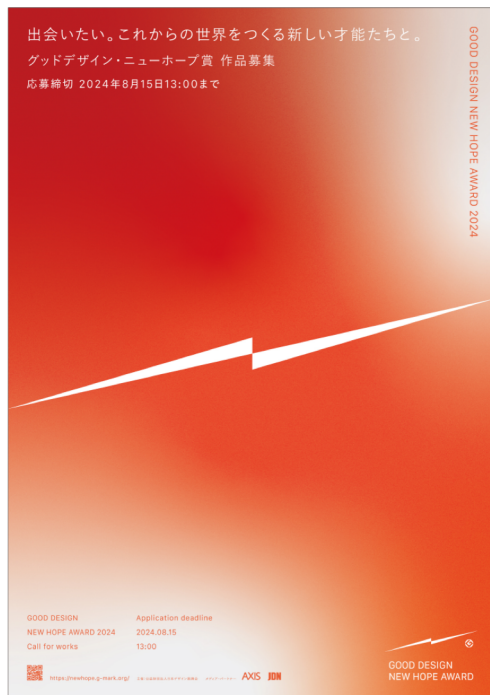
社会を構成する「物」「場」「情報」「仕組み」の四つに応募カテゴリを設定し応募を受け付けます。それぞれの領域の審査は、実業の一線で活躍するデザイナー、クリエイターが担当します。

#### 応募テーマを指定しない

特定のテーマを指定せず、応募者が自らテーマを考えて取り組んだデザインを応募できるほか、卒業制作やゼミ課題などで制作されたデザインを応募することができます。

#### 受賞後の活動支援プログラムの提供

企業でのインターンシップやデザイナーによるワークショップへの参加機会など、独自のプログラムを複数回提供しキャリア支援を行います。





2023年度 審査会風景



2023年度 最終審査会

## < 応募要項 >

### 応募受付期間

2024年3月15日（金）～8月15日（木）13:00まで

### 応募資格

応募者は、個人またはグループとし、2024年4月1日現在で個人またはグループの全員が日本国内の各種専修専門学校・大学・大学院に在籍しているか、2023年6月1日以降に卒業・修了した方。いずれかに該当すれば年齢の制限はなし。

なお複数人により共同で創作等を行ったグループによる作品等を応募する場合は、グループを構成する全員の同意が必要。

### 応募対象

応募者が独自に創作した、2019年4月以降に制作された作品で、2024年10月31日の受賞発表日に公表できるもの。各種権利の侵害がなく、関係教育機関や企業などとの間で応募に関して支障がないことを確認できたもの。

※同一年度に同一の応募者が応募できる点数は1点まで。

### 応募カテゴリー

1. 物のデザイン（製品など）
2. 場のデザイン（建築、施設、環境など）
3. 情報のデザイン（コンテンツ、プログラム、メディア、グラフィックデザインなど）
4. 仕組みのデザイン（サービス、システム、取り組みなど）

### 応募方法

公式ウェブサイトより各種情報を登録

<https://newhope.g-mark.org/award/>

### 出品料

無料

### 賞と賞金

最優秀賞（1点）／賞金30万円

優秀賞（7点程度）／賞金5万円

入選（点数制限なし）

※最優秀賞・優秀賞には副賞として、1受賞作品につき記念品と表彰状を贈呈。

※各賞については「該当なし」となる場合があります。

※受賞発表後に受賞者が参加できる活動支援プログラムを実施します。

## スケジュール

一次審査会 2024年9月20日（金）※非公開

受賞発表 2024年10月31日（木）

最終審査会 2024年12月7日（土）※公開形式で開催予定

## 審査委員

審査委員長：齋藤 精一（クリエイティブディレクター／パノラマティクス 主宰）

審査副委員長：永山 祐子（建築家／有限会社永山祐子建築設計 取締役）

### 1. 物のデザイン：

金森 聡史（デザイナー／本田技研工業株式会社 クリエイティブソリューションセンター）

田子 學（アートディレクター、デザイナー／株式会社エムテド 代表取締役）

玉井 美由紀（CMFデザイナー、環境クリエイティブ・ディレクター／株式会社FEEL GOOD CREATION 代表取締役）

松本 優子（プロダクトデザイナー／パナソニック株式会社 くらしアプライアンス社）

### 2. 場のデザイン：

鈴野 浩一（建築家／株式会社トラフ建築設計事務所 共同主宰）

鷺尾 有美（空間デザイナー／コクヨ株式会社、neighborGood 主宰）

### 3. 情報のデザイン

浅沼 尚（デジタル監／デジタル庁）

河瀬 大作（TVプロデューサー／株式会社Days 代表取締役）

### 4. 仕組みのデザイン

内田 友紀（都市デザイナー、リサーチャー／YET 代表、株式会社リ・パブリック ディレクター）

松坂 孝紀（学校経営者／神山まるごと高等専門学校）

## <審査委員コメント>



審査副委員長  
建築家 永山 祐子氏

若い世代の皆さんのリアルな思いをもとに、自由な発想で、私たちがびっくりするような新しいデザインを期待しています。



審査委員  
デジタル庁 デジタル監 浅沼 尚 氏

この賞を通じて、未来の社会づくりにつながるような新しい視点や、革新的なアイデアに出会えることを楽しみにしています。



審査委員  
都市デザイナー、リサーチャー 内田 友紀氏

皆さんの目から見る理想を、思いっきり構想したプロジェクトに出会えることをとても楽しみにしています。